

## ■氏名 山田裕之

## ■所属先 アルケア株式会社 O&R事業部 O&R設計開発部

### ■参加した動機

弊社は、「高齢社会のエッセンシャルパートナー」を事業ビジョンに掲げ、その実現に向けて、「ニーズ価値デザインシステム」を運用し始めています。このシステムのうち、顧客に寄り添って的確に真のニーズを捕え、良質な解決手段を選定する「顧客価値の創出」のフェーズに対して、バイオデザイン手法を取り入れています。

運用を開始して間もないこともあり、今まで私は、バイオデザインに対して断片のみの理解で、本手法の全体像やそれぞれの因果関係、「本質の価値をどう導き出すのか？」等、見えていない部分が多々ありました。

そのため、一連の思考・手法を深く学び、新たな価値創造へ昇華させる術を習得することで、新しい開発スタイルを構築したいと考え、本プログラムに応募しました。

### MIDでの学び

- バイオデザイン手法を体系的に学ぶことができ、それぞれの検討プロセスの因果関係が明確になった
- 一連の流れを通すことで、開発する上で自身のワークポイントを明確化出来た
- インサイトへ結び付く観察には、どのような点に着目すればよいのか？ 医療現場の観察体験を通して、人物だけを追うのではなく、周りの人やモノ、空間等の運動性に着目することがポイントであったり、様々なことを習得することが出来た

## 成果報告会

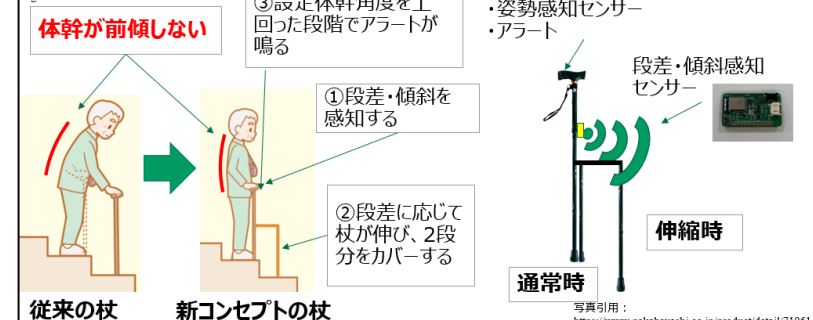
～杖歩行でも転倒を誘発しない世界をめざして～

アルケア株式会社  
O&R事業部  
O&R設計開発部  
山田 裕之  
2021年3月12日

## ラピッドプロトタイプ

動きに連動し、段差を感知することで、体幹が前傾しない杖

写真引用：<https://www.medicmedia-jango.com/2019/02/17259/>



心理面・身体面での不安・恐怖を「安心感」で支えてくれるもの